



故・高橋一男さんに正六位 町勢の発展に貢献

生前、数々の功績を残し、9月25日に逝去された元平泉町長の高橋一男さん(21区)に対し、内閣総理大臣から正六位の位階が授与されました。高橋さんは、昭和59年4月から平泉町議会議員として6期22年4カ月間、平成18年8月から22年8月まで平泉町長として1期4年間在職し、世界遺産登録の礎を築くなど、町勢発展に貢献されました。高橋さんは、平成23年秋の叙勲で旭日双光章を受章されています。(写真:叙位の伝達を受けたご子息の高橋拓生さん)



感謝を込めて閉店セール 産直ひろば日曜日

「産直ひろば日曜日」直売の会(千葉なか子代表、会員16人)は11月24日早朝から閉店セレモニーを行い、セレモニー終了後新鮮な農産物の販売を行いました。

平成11年から始めて20年間、毎年6月から11月まで毎週日曜日の朝に開催。この日は最後の開催ということで町内外から多くの常連客でにぎわいました。来場者には紅白餅と甘酒が振る舞われ、産直ひろば日曜日を通じて親しかった人たちからは閉店を惜しむ声が聞こえました。



鈴木穂鷹くんが金賞を受賞 歯・口の健康に関するコンクール

県の令和元年度歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール(日本学校歯科医会など主催)の保育園の部(図画)で平泉保育所きりん組の鈴木穂鷹くんの作品が最高賞の金賞に選ばれました。11月30日には、盛岡市の岩手県歯科医師会館8020大ホールで表彰式が行われました。

受賞した穂鷹くんは「歯ブラシで歯を磨くところが上手に描けた。自信作だったので、金賞がもらえてすごくうれしい」と笑顔で話していました。



令和時代の婦人会の役割とは 町地域婦人団体協議会会員研修会

11月29日、町地域婦人団体協議会(千葉照子会長)の令和元年度会員研修会が、「『令和時代の婦人会を考える』～婦人会の今後と地域における役割～」をテーマに役場会議室で開催されました。

研修会には会員ら約70人が参加。会員たちは7グループに分かれてワークショップを行い、身近な課題の掘り起こしと課題解決に向けて自分たちができる取り組みについて意見交換を行っていました。

榮吉さんと政夫さんが受章 令和元年秋の叙勲

令和元年秋の叙勲で、元一関市消防指令長の阿部榮吉さん(8区)が瑞宝双光章(危険業務従事)を、元町消防団第4分団長の阿部政夫さん(5区)が瑞宝単光章(消防功労)を受章し、12月19日町役場を訪れ、青木町長に受章の報告をしました。

阿部榮吉さんは昭和42年から東京消防庁、同47年から一関市消防本部で消防業務に従事し、平成20年3月に退職するまでの36年9カ月にわたり、防災力の向上、防災行政運営に尽力されました。榮吉さんは「一人の力ではなく、同僚や先輩、家族など周囲の皆さんのおかげで受章できた。感謝したい」と話していました。

また政夫さんは昭和47年に消防団に入団以来、平成29年3月に退団するまでの45年間、副分団長、分団長などを歴任。長きにわたり消防業務に精励し、地域社会の安寧に寄与されました。政夫さんは「先輩や地域の人たちのおかげで受章できた。今後も引き続き消防活動に邁進し、消防団の発展に貢献していきたい」と話していました。



写真上/受賞を報告する阿部榮吉さん(8区)
写真下/受賞を報告する阿部政夫さん(5区)

「おもしろ賞」を受賞 ふるさとCM大賞 in IWATE 2019

県内31市町村が郷土愛とアイデアで手作りの「ふるさとCM」をアピールする「ふるさとCM大賞 in IWATE2019」(岩手朝日テレビ主催)の審査会が11月24日、盛岡市のいわて県民交流センターアイーナで行われました。

当町は作品名「特さん」で参加し、「思わず笑ってしまう、ユーモアにあふれる作品」と審査員の好評を得て、特別賞の一つ「おもしろ賞」を受賞しました。受賞したCMは今後1年間、岩手朝日テレビで50回放送される予定です。



さらなる健康増進に向けて 第12区の「いきいき百歳体操」が200回到達

第12区は平成27年11月からモデル地域として町内で先駆けて「いきいき百歳体操」に取り組み、12区公民館を会場に週1回のペースでこれまで実践を続けてきました。

11月27日にはその取り組みが200回の節目を迎え、お祝い会を開催。お祝い会には地域住民約60人が参加し、今後のさらなる健康増進へ誓いを新たにしていました。また余興として民謡歌手の中川愛子さんや山上衛さんらを招き民謡・舞踊ショーも催されました。